



広報

那覇市民の友

第687号 毎月1回発行
2008年(平成20年)

4月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 (株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2008(平成20)年2月末現在	
総人口	316,573 (2,112)
男	152,758 (1,128)
女	163,815 (984)
世帯数	131,377 (1,282)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本庁	93,882
真和志	104,606
首里	58,311
小禄	57,662

開南幼稚園のちびっ子たちがシーサーが大好き。(円内)昨年のシーサーの日「壺屋のシーサー陶工展」の様子。



シーサーを全国に発信

4月3日はシーサーの日

4月3日を「シーサーの日」として、やちむんシーサーの発祥地・壺屋から全国へシーサーをアピールしようとして、「壺屋でシーサーの日」のイベントが3日(木)、壺屋焼物博物館を中心に開催されます。

これは、「青少年健全育成運動のシンボル」として、県議会棟前に設置されている「愛のシーサー」の建立運動が1994年4月3日に始まったことから、4月3日を「シーサーの日」とし、全県・全国に広め、町おこしにつなげようとして提唱されてきたのが始まりです。

この取り組みは、壺屋町民会、壺屋陶器事業協同組合、壺屋やちむん通り会など8団体が実行委員会を立ち上げ、地域ぐるみで行っているもので、今年で7回目を数えます。

邪気を祓い、開運を招くといわれ、沖縄に昔から伝わる家の守り神・シーサーも現在は、観光・沖縄のシンボルとなっています。

そのシーサーは、古代オリエントに起源を持つといわれ、百獣の王ライオンを原型とした獅子が、シルクロードを旅しながら様々に変容し、琉球王国の大航海時代に中国から沖縄に伝わり、現在の形となったと一般的にいわれています。

イベントでは、「壺屋のシーサー陶工展」も開催されます。みなさんも会場で、名人の作ったシーサーから、悠久の歴史に想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

主な紙面

- 狂犬病予防注射で安全で住みよい那覇市に遊び・出会い・居場所ようこそ児童館へ
 - なはが好き! みんなで創ろう子どもの笑顔が輝くまち
- 情報PACK

6 4 3 2 7 5

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ

34

市では、平成20年1月9日に、繁多川自治会と「繁多川自治会地域文化財指定事業」に関する協定を交わしました。

この事業は、繁多川自治会が、市や有識者と連携して、繁多川の文化を掘り起こし、文化財の管理や清掃を行うという事業で、郷土への愛着心を育み、世代間の交流コミュニケーションの活性化が期待されています。

具体的には、繁多川自治会が中心となって、繁多川地域の歴史や文化に関する学習会の開催、「地域の文化財」を選定した後、その文化財に、名前や由来などの説明文を記した立て看板を作製します。

また、「カーヒラシ(地域で行う井泉の清掃)」といった地域行事の復活の計画も予定されています。その他にも、地域文化財の場所が一目で分かるよう、分布を表示したパネルを設置し、文化財を訪ねてくる人にも対応できるようにします。

現在、繁多川自治会では、この事業をスムーズに進められるよう、県内の大学で非常勤講師をしている波平エリ子さんを講師にむかえて毎週勉強会を開いています。繁多川自治会の波平元維会長は「繁多川の文化財や地域の伝統を守ることによって、住民が地域を

地域の文化財で ふるさとづくり

誇りに思うようになると、また世代を越えて、みんなが地域のことを教えあうことで、交流が深まることも期待しています。この事業は始まったばかりですが、市や自治会、地域のみならずにも協力してもらい、進めていきたいです」と抱負を話していました。この事業では、市は、地域での学習会の企画・運営を支援するほか、看板の作成・設置補助など側面的な支援を行い、繁多川自治会は看板の設置・管理を行います。また、学習会で講師を務める大学の講師は、文化財の知識を参加者に伝える、というように、各主体がそれぞれの特徴を活かして取り組む事業で、まさに「協働のまちづくり事業」といえます。

この事業を機に、みなさんも、地域で埋もれていた、見落としがちな身近な文化財に目を向けてみてはいかがでしょうか。



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。



井戸の大きさを測って、たて看板を立てる準備をします

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。
☎862-9942 秘書広報課

再生紙を使用しています。